



「しあわせの村」 絵画ボランティアグループ 美工 26期 宮崎 辰夫

目 次

2	【特集】第26回学園祭に向けて <学園祭参加団体一覧>
6	新入生歓迎交流会
8	教室だより：園芸 27期、美工 27期
9	先生！インタビュー：国際、音文
10	サークルだより：KSC スキークラブ、アンサンブル KSC、救急ボランティアしあわせ、KSC オカリナチーム
12	グループわだより、ジョイフルクッキング
13	文芸サロン：俳句・川柳・応募作品
14	トピックス：絵画・陶芸 VG 合同作品展、七夕飾り、ユニバーサルカレッジ開講
15	事務局だより、図書室だより、編集後記
16	Photo News：新入生歓迎交流会

情報誌編集委員会では、カレッジ内外の活動も含めて写真・記事の投稿をお待ちしています。

「爽風」への情報提供・ご意見は、次のホームページからお寄せください。

<https://ksc-sofu.net/> スマホからは右のQRコードを読み取ってアクセスできます。



特集 第 26 回 学園祭に向けて コロナ下の学園祭！ルール守って粛々と！

第 26 回学園祭が 10 月 9 日(土)に開催されます。昨年はコロナ禍により中止となり、本年は参加者を学生とカレッジ関係者に限定し、出店・出展・出演団体数の大幅な削減、入場時の検温と消毒、飲食を伴う出店と校内での食事を制限し、徹底した感染防止対策を講じた上での開催となります。厳しい状況下ではありますが、27 期を中心に学生一同一体となって準備を進めています。学園祭開催を前に、総合委員長および各委員会の委員長からあいさつと開催に向けての言葉をいただきました。

【総合委員長のあいさつ】

園芸 27 期 紅露 茂
食文 27 期 大平 真理子



昨年は、コロナ禍により学園祭が中止となり、大変残念な思いがしました。本年は、感染防止の観点から飲食を提供する出店は制限されるものの、10 月 9 日（土）に開催される運びとなりました。

コロナ禍の中にもかかわらず、おかげさまで 48 団体の参加応募をいただきました。ありがとうございます。

今年も 4 月に学園祭委員会が立ち上がりましたが、緊急事態宣言が発出され、1 カ月遅れの船出となりました。

「コロナ下の学園祭！ルール守って粛々と！」のキャッチフレーズのもと、参加団体と各委員会委員および支援者の方々と歩調を合わせて、準備を進めてまいります。

クラスリーダー、支援者、事務局ならびに関係者各位から多大な尽力をいただき、深くお礼を申し上げます。

シルバーカレッジは新しい人生の始まり、「再び学んで他のために」を学び実践する場所です。

コロナ禍での学園祭であります、みんなで知恵を出し合い、次のステップに進んでいきたいと思っております。

10 月 9 日は午前と午後に分かれて学園祭に参加していただきますが、皆さまが笑顔で過ごしていただければ、幸いです。

今後とも皆さま方のご支援ご協力をよろしく申し上げます。

◇ 総務委員会

音文 27 期 木田 美佐子

学園祭、この心躍る響きにワクワクされる方も多いのではないのでしょうか。

新学期早々、学園祭委員会が開かれました。総合委員長のもと、総務、駐車場、ステージ、屋外テント、展示、バザーの 6 つの委員会、そして今回新たに総務委員会の中に消毒・検温・入場者の管理を主な任務とするコロナ感染対策チームを設け、活動を始めました。

私たち 27 期生は昨年、コロナの影響で半年遅れの入学となり、それに続く学園祭も中止になりました。このような状況でスタートした学園祭委員会は前年の経験者の話も聞けず、それぞれの委員会も苦労があったかと思えます。しかし、先輩たちが残してくださった資料を元に、何とか学園祭を成功させるべく努力しております。

今年のキャッチフレーズ、「コロナ下の学園祭！ルール守って粛々と！」をスローガンに、安心、安全な学園祭を目指していきたいと思っております。

皆さまのご協力を何とぞよろしくお願い申し上げます。



カレッジホール前の総合受付（第 25 回）

◇ ステージ委員会

国際 27 期 櫛田 昌稔

カレッジ事務局から、「今回の学園祭は、コロナ禍のなか外部からの入場者はお断りし、現役の学生のみでの学園祭とする。また学生の入場者は午前と午後に分ける。このような条件のもとで、ステージ委員会としてはどのようなことができる

か考えてほしい」と言われて、例年と違ったステージ委員会がスタートしました。

前は 31 の参加団体が一日で順次披露するというハードスケジュールでしたが、今回は密を避けるため 10 月 8 日午後と 10 月 9 日午前・午後の 2 日間にわたって実施する企画となりました。

参加団体は 22 となり、1 団体 13 分の披露となります。ステージ委員会としては、2 日間という初めての企画であるとともに、7 人の委員もほぼ全員が学園祭の経験がない人ばかりです。しかし、出演するみんなが「楽しく最高のパフォーマンスができた」と喜んでもらえるよう、精一杯頑張りますのでよろしくお願いします。



アロハハワイアンズの華やかな演技（第 25 回）

◇ 屋外テント委員会

生環 27 期 岡野 良雄

屋外テント委員会は、委員 4 人、支援者 29 人が出店グループの皆さまと力を合わせて、安全第一をモットーに、2 年ぶりに開催される 10 月 9 日（土）の学園祭を盛り上げようと、意気込んでいます。

私たちの役割は、カレッジ中庭で各出展者が模擬店を開くための側面からのお手伝いをすることです。具体的には、①模擬店の場所の割り当て、②テントの事前設営と終了後の撤去、③机、椅子などの設営と撤去、④そして一番大切な出店者と来場者の安全管理などです。

しかし、委員も支援者も前回の学園祭を経験していません。先輩たちが残してくれた貴重な資料と首っ引きで準備を進めているところです。

第一回の支援者会議では、委員と支援者が一堂に会したものの、屋外テント委員会の概要説明のみで終わり、具体的なことは次回以降に持ち越されました。

今年の学園祭は、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底して開催されることが求められています。そのため、参加は現役学生のみに限られ、規模の縮小も余儀なくされています。

飲食禁止のため、食文コースの皆さまの発表や、健福コースのうどん店などが開催できなくなりました。残念ですが、こ

ればかりは仕方ありません。

皆さまのご理解とご協力を切にお願いします。



中庭での出店風景（第 25 回）

◇ 展示委員会

美工 27 期 河合 信夫

メンバー 5 人でふれあいホールの展示・出店の設営、備品類貸出業務を行っています。

今年はコロナ下での学園祭という制約の中で規模 50% を目標に検討がスタートしました。展示委員会もふれあいホールの 3 密回避と机・椅子・展示パネルの貸出数削減、それに伴う支援者数の縮減にも努めています。

参加団体の皆さまもコロナ感染者数の拡大という現状は認識しつつ、自分たちの作品などは少しでも多く展示したいという気持ち＝「総論賛成・各論？」でしょう。

学園祭は皆さまのカレッジでの成果を表現する最大のイベントです。さらに、昨年は中止という最悪の結果でしたので、今後のことを考えると今年は規模を縮小しても何としても開催しなければなりません。作品の創作やステージパフォーマンスはできますが、発表のための運営体制の整備があつての話です。

8 月上旬現在、やっとスタートの遅れを取り戻し、例年のスケジュールに乗れたところです。

支援者、展示・出店者の皆さま！ 9 月以降ラスト 1 カ月、皆さまのご協力をよろしくお願いします。



ふれあいホールでの習字・絵画などの展示（第 25 回）

◇ バザー委員会

生環 27 期 濱田 茂治

学園祭のバザー収益金は、学園祭の運用費用としあわせの村の福祉施設への寄付金に充当されます。自分たちのためだけでなく、地域社会づくりに貢献しています。

前回の学園祭ではたくさんの物品提供があり、購入していただくことにより、学園祭に寄与することができました。今回も同様に在校生、グループわ、卒業生の皆さまに物品提供をお願いしております。

今回はコロナ禍のため、購入者は在校生の皆さまのみになります。財布の紐を少しゆるめていただき、前回に少しでも近づくことができればと期待しております。

販売は学園祭前のオークション販売と学園祭当日の店頭販売の 2 通りの方式で行います。オークション販売は 1 日だけではありませんので、3 密を避け、気に入ったものを発掘していただくと確信します。

ぜひ、皆さまの 1 品・1 コイン・1 ビルの先に SDGs な社会がほほ笑んでいることをイメージしていただき、「他のために役立つ充実感」、「掘り出し物を見つけた嬉しさ」を実感してください。

スマートにチャリティーバザー開催！！



衣類・日用品などさまざまな物品の販売（第 25 回）

◇ 駐車場委員会

健福 27 期 風折 正美

駐車場委員会は、委員 4 名と支援者 32 名でカレッジ内駐車場および臨時駐車場の安全管理業務を行います。学園祭の前日は出店・展示の準備、午後からはカレッジホールのステージでグループ A の合唱や演奏が行われますので、午前中のみ 8 時から 12 時までの時間帯を管理します。

今回の学園祭の駐車場利用者は、昨年までと異なり学生の皆さまになりますが、業務内容は同じだと考えています。駐車場委員および支援者全員で協力して、安全第一をモットーに業務を遂行したいと思います。

カレッジ内の駐車場および臨時駐車場が満車になれば、その後はしあわせの村内の一般駐車場の利用となります。なおカレッジ内駐車場および臨時駐車場の車は、昼休みに全車両入れ替えとなりますので、スムーズな入れ替え行動を期待します。

全てに優先して安全第一で業務を遂行し、無事故で学園祭を終了したいと考えています。皆さまのご理解とご協力をお願いします。



カレッジ正面玄関前での車両規制（第 25 回）



第 26 回 学園祭 ステージ出演団体

出演日	グループ	出演順	出演団体	
10 ・ 8 (金) 午後	A (注 1)	1	KSC 軽音楽クラブ	
		2	混声合唱団コーロ KSC	
		3	KSC フルートクラブ・フルーツパフェ	
		4	昂 28 (音文 28 期)	
			エール 27 (音文 27 期)	
			響 26 (音文 26 期)	
		換気休憩 (5分)		
		5	アンサンブル KSC	
		6	KSC 男声合唱団	
		第 1 日目終了		
10 ・ 9 (土) 午前	B (注 1) (注 2)	1	KSC フォークソング・クラブ	
		2	KSC ハーモニカグループ	
		3	KSC 謡曲クラブ 銀謡会	
		4	KSC 社交ダンスクラブ	
		換気休憩 (5分)		
		5	KSC 三曲会	
		6	あかりの会	
		7	KSC オールディーズクラブ	
		8	KSC 太極拳クラブ	
		昼休み		
10 ・ 9 (土) 午後	C (注 1)	1	KSC 人形劇「ゆめ」	
		2	手話ソング	
		3	KSC マジック同好会	
		4	KSC オカリナチーム	
		換気休憩 (5分)		
		5	KSC アロハハワイアンズ	
		6	KSC 民謡同好会	
		7	KSC フォークダンスグループ	
8	楽遊グループ (銭太鼓)			
第 2 日目終了				

第 26 回 学園祭 出店・出品・展示 団体

10月9日(土)

開催場所	参加方法	番号	団体名
屋内 (注 1)	出店/出品	1	シルバーケーキの会
		2	食文 27 期
		3	ケナフの会
		4	KSC 英語点字グループ
		5	KSC ダーツクラブ
		6	美工 28 期 (陶芸)
		7	美工 27 期 (陶芸)
		8	美工 26 期 (陶芸)
		9	KSC エシカル広報部
		10	絵画ボランティアグループ
		11	陶芸ボランティアグループ
	展 示	12	美工 28 期 (絵画)
		13	美工 27 期 (絵画)
		14	美工 26 期 (絵画)
		15	KSC 写真クラブ
		16	KSC 書道部
		17	俳句クラブ
		18	川柳くらぶ
		19	KSC 野鳥と自然観察会
		20	絵手紙同好会
		21	パソコンクラブ
		22	KSC インターネットクラブ
中庭	出店	23	園芸 26 期、27 期、28 期
		24	ボランティア木工グループ
		25	「ガーデニング」グループ
		26	有機野菜をつくる会
学習室 5・6	チャリティー バザー	27	学園祭バザー委員会

(注 1) ふれあいホールまたは学習室 1・2、7 のいずれかで出店・出品・展示。

(注 1) ホールへの観客入場者数は最大 180 人。

(注 2) グループ B の演技終了後、観客全員ホールから退場。

第 28 期生 新入生歓迎交流会

新型コロナウイルス感染症による休校で延期されていた第 28 期生の「新入生歓迎交流会」が、7 月 27 日から 30 日にかけてカレッジホールで開催されました。各コースとも 26 期生・27 期生の心のこもった交流会が実施されました。

健康ライフコース

28 期 木野島 公子

コロナ禍により延期されていた 28 期生の歓迎交流会が、7 月 28 日カレッジホールで開催されました。諸先輩、学校関係者の皆さまの温かい拍手の中、入場。椅子席には心



づくしの絵手紙が置かれていました。ステージ上で行われた KSC アロハハワイアンズ、手話ソング、KSC 男声合唱団、KSC フォークソング・クラブの生き生きとした表情

豊かなパフォーマンスには見入ってしまいました。たくさんいただいた歓迎のお言葉「求めて人との交流を深め充実した 3 年間を過ごそう」「卒業しても継続できるものをつかもう」などのメッセージもしっかりと胸に届きました。26 期生、27 期生の皆さま、ありがとうございました。来年は私たちの番ですね。

ご指導、ご助言よろしくお願ひいたします。

国際交流・協力コース

28 期 岸本 修治、谷口 清

コロナ禍の下、密を避けるため控室から班ごとにカレッジホールへのご案内いただき、校歌と先輩方の温かい拍手で迎えられました。一礼の後、席へと案内され、程なくプログラムが始まりました。

歓迎交流会実行委員長による開会の辞、26 期生クラス代表の方の歓迎の言葉、新入生あいさつに引き続き、ア



ンサンブル KSC、手話ソング、マジック同好会、楽遊グループ(銭太鼓)の歓迎アトラクションで楽しい時間を過ごさせていただきました。

最後は、一本締めで終了しました。26 期生、27 期生の先輩の皆さま本当にありがとうございました。

歓迎の言葉では、既にグループ学習に入っておられる 3

年生から、入学後の時の流れの早さと、学園生活を精一杯エンジョイする事をアドバイスいただきました。グループ学習を楽しみにして、学園生活に積極的に取り組んでいきたいと思ひました。

生活環境コース

28 期 佐野 幸男、関 信夫

生環 28 期生の歓迎交流会は、7 月 29 日カレッジホールで開催されました。コロナ禍の影響で 2 カ月遅れ、また従来のように 3 学年の学生が同じテーブルを囲んで交流するという形ではなく、学年別にソーシャルディスタンスを保って着席する形でしたが、これもやむを得ないことでした。しかし、昨年は 9 月開校、歓迎交流会は開催すらされなかったことを思えば、感謝の極みです。

3 年生代表の方からは、「互いに刺激しあう人間関係の構築を」と、来賓の事務局長からは「コロナ禍への取り組みと生環コースへの新たな魅力づくり」について、お言葉をいただきました。



またアトラクションとして、アンサンブル KSC、手話ソング、KSC 社交ダンスクラブ、KSC 太極拳クラブの熱演を楽しませていただきました。

最後に 1 年生代表がお礼を述べました。3 年間、新たな学び・新たな出会いを求めて、学生生活を送りたいと思ひます。26 期生、27 期生の皆さま、ありがとうございました。

そして、これからもよろしくお願ひいたします。

総合芸術コース（美術・工芸専攻）

28 期 山本 昌昭

美工専攻新入生歓迎交流会は、7 月 30 日に盛大に開催されました。

私たち 1 年生も不安と期待の思ひのなかで入学して 4 カ月たちましたが、仲間たちとも少しずつ心のふれあひが感じら

れるようになりました。



会場では KSC フォークソング・クラブの皆さんによる懐かしい「青春時代」「いちご白書をもう一度」等、歌と演奏で楽しませていた

だきました。まさに、『青春時代が夢なんて、あとからほのぼの思うもの・・・』過ぎ去った昔が鮮やかによみがえりました。先輩の末広さんと柴谷さんのお祝いの言葉をいただき、柴谷さんからはあまり伝統に縛られず、新しい伝統を築いてほしいと激励のあいさつがありました。また授業風景や3年間の活動スライドの紹介があり、皆興味津々。事務局の加藤さんからは3年間思いっきり楽しんでくださいとの言葉をいただきました。最後に我々新入生代表の森岡さんより感謝の言葉で閉幕となりました。

皆さまの一生懸命な姿に大変感動を受けました。これから学園生活のご指導、ご鞭撻をよろしくお願いします。

総合芸術コース（音楽文化専攻）

28期 仲川 一美

シルバーカレッジ夏休み前の最後の登校は、新入生歓迎会でした。待機場所の学習室では26期生手作りの色とりどりのマラカスと記念写真の飾り枠が配られ、先輩からの温かい心遣いを感じました。会場へは57年前の東京オリンピック入場行進曲と共に少し緊張した足取りでの入場となりました。



まずは2年生『エール27』の合唱。私たち新入生に「エール」を送っていただいているのが感じられ、温かみのある歌で感動し涙が出そうでした。

次に私たち1年生『昂 28』の合唱。練習時間が少なかつた中、そこそこの出来だったのではないかと・・・（自画自賛ですが）

最後に3年生『響 26』の合唱。カレッジホールに「響き」渡る歌声に聴きほれてしまいました。私たちも今後、先輩のレベルに達するよう、練習を積み重ねていきたいと思います。合唱のあとは、アトラクションがあり楽しいひと時を過ごせました。先輩方の工夫・ご苦労に感謝の気持ちでいっぱいです。

今後ともご指導、よろしく願いいたします。

総合芸術コース（園芸専攻）

28期 本橋 平和

7月27日、園芸28期生の歓迎交流会が開催されました。会場となったカレッジホールの入り口前にはすてきなバラの花が飾られており、先輩の皆さまは既に会場に着席されていて、温かい雰囲気の中を入場し席に着きました。



先輩方から歓迎のご挨拶をいただいた後、これからの学園生活の説明を受けました。華やかなアトラクションの歓待を受け、カレッジライフを送る期待と喜びを楽しい気持ちで感じました。新入生代表あいさつの、「入学前のジャケットとチノ

パンで通うカレッジライフのイメージが、入学後は汗と土がメインの日常になっています」とのお話には共感を覚えた新入生も多かったと思います。

入学式から4カ月がたち、既に農園での実習や、さまざまな活動で先輩方の親切なご指導やアドバイスをいただいております。講師や先輩方のご指導のもと、園芸の知識や技術だけでなく、クラブやボランティア活動を通じて有意義なカレッジライフを送っていきたくと思いました。

総合芸術コース（食文化専攻）

28期 中山 久憲、清水 とみ子

猛暑の中の7月28日に、食文28期生の歓迎交流会が開催されました。アトラクションとして、KSCオールディーズクラブ、KSCオカリナチーム、KSCマジック同好会による演奏と演技には、カレッジで楽しく活動されている姿が映し出され、楽しい一時を共有することができました。

27期生から調理実習や課外活動の話、26期生から2年前の学園祭での「豚汁」と「鮭ちらし寿司」の調理・販売の苦労話、年度末の8種類の「総まとめ料理」の調理と食事会の様子など今後の参考になる話が披露されました。

入場の際に配布された「祝御入学」のメッセージで飾られたチョコチップ・レーズン・

ココアクッキーは、前日に27期生が集まって調理していただいたまさに「食文」らしい味わい深い記念品でした。



26期生、27期生の皆さま、ありがとうございました。

美工の愉快的仲間たち

美工 27 期 住友 さより

精密機械のように細かく正確な絵と器を作る、とても真面目で実直、話とメールがくい彼。予習復習を真面目にこなし、日々絵も器もうまくなり、描いたリングは本当においしい「リングの〇〇」と形容詞のつく彼。風景画を描かせれば画伯、でも人物画の顔は少し・・・、そこに大いに人間味を感じる賢い彼。「木から落ちてから・・・。」と自分で言うが、絵を描くとリアルですごくうまい、穏やかな彼。いつもウロウロウロウ、どこにでも顔を出して、大きな声でしゃべる、デッサンは人並みに描ける雑用係の彼。1年の時には声もほとんど聞いたこともないのに、2年になってどこかでスイッチを押されたのか、入ったのか、人が違ったようになったイタリア帰りの彼。まだ、声を聞いたことがない人が多く、ほとんどしゃべらないが、少しユニークな器を作る彼。真面目に描く絵はとても上手、時々変なものを描き加えている彼。

いつもクラスの世話をすんでしてくれるが、いらぬ一言が多いのが玉にキズ、みんなが頼りにしている彼女。天使が舞い降りているような、絵はちゃんと描ける彼女。顔立ちがきれいで、持っている感性がすごく、絵画も陶芸もめっちゃ上手な彼女。いつもどこか間が抜けていて、面白く、大きな作品を作る

一人で、バナナをよく食べている農業女子の彼女。いつも、誰にでも優しく、とても早口の花の絵がうまい彼女。身体全体からにじみ出ている優しさと、凜とした感じがとてもすてきで賢そうな、ピピちゃん大好きな彼女。絵はへた、いつも大きな器を作り、きちっと化粧をして、強引でとても個性的な私。絵が優しくて、とっても上手な、古代米を作っているの？ 穏やかな彼女。2月に膝の手術をして、痛みにも耐えながらも頑張っている彼女。等々。そして、人の話を全く聞かない年寄りたちを相手に、言葉の合間の笑いで、怒りをごまかしているであろう？ 事務局の彼女。

みんな個性一杯にあふれている 27 期ですが、とても仲良く、楽しいクラスです。いつも笑顔が絶えません。



園芸の魅力にひかれて！

園芸 27 期代表 兵頭 彰

昨年 9 月に入学した園芸クラス員は、総勢 23 名。入学当初は皆、新入生らしく不安顔ではあったが、野菜や花を育てたいといったワクワク感の方が勝っているように思われた。予定の春夏の授業が飛んでしまい、秋に向けての植物となり少し残念ではある。

まず、最初の講義で園芸の基礎は土作りと教えていただき、花壇と畝が各班に与えられた。初めに今までの花壇の土を掘り起こし土の天地返し（土の表層と深層を入れ替えること）。その後、腐葉土、赤玉土に元肥を混ぜ合わせて土を作り、どんな花を植えようか？ テーマは？ などと老いた頭をフル回転しながら花壇設計を練っているうちに、汗と共に一つのものを作り上げる仲間との一体感が生まれ、グッと親近感がわいた気がする。花苗を植え付けた後は、毎日、土の渇き状況を見ながら水やりし、花の生育状況を観察する。花は正直である。良い土、日光、水分、肥料、それに病気、害虫対策をせば、その努力に応えてくれる。



何よりの効力は、気持ちが和らぎ、そして人との触れ合いが生まれる事。散歩されている方々からも「きれいですね」「この花の名前は何ですか？」と花を通して人と人がつながることに自分の心が満たされるようで園芸を専攻して良かったと思った。また、農園では野菜の生育条件で（例えば温度、湿度、肥料の回数など）どのように成果物に影響を与えるのかといった研究テーマを設定し、仲間と楽しく取り組んでいる。

人生 100 年時代、花や野菜との触れ合いは、生活に潤いと張り合いを与えてくれる。高齢者にとって非常に大事だと思う。我が家は、ネモフィラ、コキア、日々草 etc. コツコツと種から育てた花が見事に咲き誇り、周りから花咲か爺さんとからかわれた。スイカの種は全滅したかと思いきや 1 個だけ成長してくれて、甘さは期待できないが、スイカの赤ちゃんは可愛いものだ。

カレッジのモットーである「再び学んで他のために」を実感する毎日である。きれいで華やいだガーデンになって何よりも妻が喜んでくれる！？





国際交流・協力コース 楠本 利夫 先生

- ・博士（国際関係学） 自治体国際政策、多文化共生、神戸現代史。
- ・神戸大学卒業、神戸市職員、立命館大学客員教授を経て、芦屋大学教授。
- ・ライフワーク：シニア生涯教育。「シニアルネサンス研究会」主宰。『シニアルネサンス・人生二幕論～シニア活躍社会への道～』（仮題）上梓予定。日本パン学会副会長。
- ・著書：『自治体国際政策論』『国際都市神戸の系譜』『移住坂』

先生とシルバーカレッジのなれそめを教えてください。

KSCの講師を始めたのは、20余年前の58歳の時からです。若かった私にとり、KSCはシニア学生から学ぶ場でもありました。学生から教えられ、鍛えられて今日の私があります。

KSCのグループ学習は、優れた教育システムです。特定のテーマを、仲間と共に研究して報告書にまとめ、発表する過程が、シニアが生涯健康脳を維持するために必要な、①知的好奇心、②コミュニケーション、③運動、を備えているからです。また、立ち上げました「日本パン学会」は、卒業生のグループ学習がきっかけとなっています。

神戸学について教えてください。

神戸市役所での仕事は、ポートアイランド計画や天津事務所開設等、多岐に亘りましたが、一言でいえば、国際都市神戸を世界に宣伝することでした。海外に神戸を売り込むためには自ら神戸を知ることが大切であるという思いから開港

都市「神戸」の研究にのめり込んでいったことが「神戸学」研究の始まりです。

「海外移住者顕彰事業」について教えてください。

阪神・淡路大震災で神戸の建物が軒並み倒壊する中、国立神戸移民収容所（1928年築）が無傷で残ったことをニュースで知ったブラジルの日系人が、日本で過ごした最後のまちである神戸に義援金を送ってくれました。私はこれに感激し、市民運動「海外移住者顕彰事業」を立ち上げ、移民収容所保存活用、海外移住者像建立（メリケンパーク）などを実現しました。

シルバーカレッジ学生に向けて一言お願いします。

最後に、シニアは、①人生を楽しみ、②知的好奇心・運動・コミュニケーションを維持して「生涯健康脳」を保ち、③「一隅を照らす」人になってほしい、と強く思います。

（国際 27 期 山中、小原 28 期 岸本、谷口）



音楽文化専攻 岩井 正浩 先生

- 高知県出身。愛媛大学教育専攻科（音楽専攻）修了。東京芸術大学研究員。
- ハンガリー人民共和国リスト音楽院研究員。博士号を取得。
- 令和元年、地域文化功労者として文部科学大臣から表彰される。
- 現在、神戸大学名誉教授。

Q：NHK チコちゃんに叱られる出演の反響は？

音楽以外の方からもちょこちょこ連絡が入りました。同級生からは「あれは岩井君だったのか」と驚かれました。再放送もあり、かなりの反響がありました。悪いことができなくなりました。

Q：三三七拍子との出会いはいつ？

小さい頃から祭の「トントントン トントントン」や「チューリップ 咲いた」のリズムが自然に入っていたのですね。だから三三七拍子は普通のリズム感だったのです。いつと言われてもわからないですね。

Q：応援団ではなかった？

中学ではソフトボール部、高校・大学は山岳部でした。必死で登るしかなかった。でも、ロッククライミングはリズム感が大事でしたね。ロッククライミングの合宿の後ではピアノを弾こうとしても弾けません。おまけに歯までやられてしまいました。でも何事にも代えがたい体験だったので、山をやっているとよかったと思いますよ。

Q：自由な時間は何をされていますか？

朝はテレビ体操をしています。お勧めです。

7つのコースで1時間ほど歩いています。

Q：民族音楽に入るきっかけは？

愛媛大学特設音楽科の作曲科に入りました。バルトーク、コダーイ、間宮芳生たちに大きな影響を受けて、民俗音楽に入っていました。

Q：よさこい祭りに関心がおありのようですが？

最近本を出しました。この祭りは自由に議論し自分たちで作っていく、新しい形の都市の祭りだと思います。

Q：学生へのメッセージを。

「好き嫌い」と「認知」とは全く違います。異なるものに対して「だめだ」ではなく、「こういうのもあるのだな」とさまざまな価値観に対して寛容になってほしい。

（音文 27 期 空中、甲斐）

KSC スキークラブ

“スキーは生涯スポーツ”

国際 28 期 小山 博

スキーは、皆さん若い頃一度は滑った経験がある人は結構います。始めた頃から、現在に至るまで続けている人も少なくはありません。ただ、前記のように若い頃滑っていたがという人が、シルバーカレッジに入ったことがきっかけで、この際またやってみるかという人も参加されています。

タイトルにもありますように、スキーは若い人だけのスポーツではありません。身体が動く限り楽しめるスポーツです。特に、下り坂を滑るので体力を比較的必要としません。これは私の思いですが、確かに、若いころの滑り方とは大きく違ってきます。年齢相応の滑りをするることによる楽しさがまた最高です。

ただ、年を取るとアフタースキーに重点を置くという楽しみも増えてくるのが現状です。特に温泉、そしてお酒。KSC スキークラブの活動は、冬季は近郊のスキー場から信州、東北、北海道とスキーツアーの企画をしています。

シーズンオフには、トレーニングを兼ねてハイキング、親睦を図るためのバーベキューなどを例年、企画しています。ただ新型コロナウイルスの関係で、昨シーズンより活動が自粛状態になっています。

今年の冬季には、ワクチン接種も終わり、ウィズコロナでの活動が開始できると思っています。皆さんが待ち望んでいる、蔵王のスキー、北海道ルスツでのスキー、近郊では奥神鍋、八チ北等活発な活動を開始する予定です。



2019年3月 北海道ルスツ



2020年2月 蔵王

アンサンブル KSC

“名手も迷手も、みんなで楽しく器楽合奏”

生環 27 期 田島 良和

アンサンブル KSC は毎週木曜日の放課後に学内の音楽室か学習室で器楽合奏の練習をしています。

楽器編成はピアノとバイオリン、チェロ、ギター、マンドリンなどの弦楽器やオカリナ、フルート、クラリネット、アルトサクソなどの管楽器およびパーカッションです。

在校生だけでは楽器編成を組めない場合は、OB で構成される合奏団から応援を頂きます。

OB の指導、指揮のもと音階、リズムの基礎練習から始まり、ルーティン曲、従来曲（クラシック、ポピュラー、歌謡曲など約 60 曲）の中から数曲および新曲の練習を行います。音を外しても、繰り返し記号などで迷子になっても、ノープロブレム。練習ですから。



学習室での練習風景

昨年はコロナ禍の影響で学園祭がありませんでしたが、今年 1 月のジョイラックデイズ、4 月の入学式後の中庭パフォーマンスで練習の成果を披露することができました。また新入生歓迎交流会でも 2 つのコースでアトラクション出演の機会を頂きました。



男声合唱団とのコラボ演奏

器楽演奏を通じて、個々の音楽技術、感性を高め、クラブ員相互の親睦と協調性を築き、機会を得てボランティア活動にも音楽を通して寄与することを目標に、練習に励んでいます。

器楽合奏に興味をお持ちのかた、学年にこだわらず練習風景をのぞいてみてください。

救急ボランティアしあわせ

“あなたの勇気で救える命があります”

私たちと一緒に活動しませんか！”

美工 26 期 林 英一

10 年前学内で突然一人の学生が倒れました。当時 16 期生の先輩たちが仲間呼びかけ「救急クラブしあわせ」を立ち上げました。そして、2013 年 7 月にボランティア活動として取り組むため「救急ボランティアしあわせ」と名称変更しクラブ協議会からボランティアセンターに移行しました。

COVID-19 が流行している現在、感染の疑いがあるために市民救助者は、胸骨圧迫のみの CPR と AED による電気ショックを行うことが提案されています。人の命を救うため、その場に居合わせた人ができる応急措置で、救急車が到着するまでの間がとても大切です。早期社会復帰できるかの分岐点でもあります。私たちは、会員同士の勉強会、コロナ禍以前は、学内行事での救護班、明石海峡大橋ウォーク、ルミナリエ等イベント会場の救護班に参加していました。そして「市民救命士」「救急インストラクター」資格取得を目指して活動しています。



2019 年 8 月 兵庫県広域防災センター

コロナ禍前のイベント参加で兵庫県広域防災センターでの集合写真です。今に思えば「過去には戻れない、未来は分からない、現在を精一杯生きるだけです」

28 期生の入会者は 0 人、27 期生は 1 名が退学され 0 人、26 期生が 4 名と卒業すると休部となります。一緒に活動しようかと迷っているあなた。是非、いつでも見学・入会大歓迎です。



2021 年 1 月 ジョイラックデイズ

KSC オカリナチーム

“土笛の優しい音色に癒やされて”



園芸 27 期 野村まり子

しあわせの村内の福祉施設への訪問演奏を目的として、3 年前に誕生した若いサークルです。当初は 5 人だった会員が毎年倍増されて、現在 19 人になりました。コロナ禍の昨今、施設訪問はかかないませんが、歓送迎会やジョイラックデイズなどの学校行事に積極的に参加して、スキルを磨いています。



健福 26 期生歓送交流会

演奏曲は、唱歌、アニソン、歌謡曲などで、二重奏、三重奏にも取り組んでいます。

中でも感慨深いのは、3 月に開催したサークル内での歓送発表会です。ソロやグループでのオカリナ演奏や、ギター、篠笛、ハーモニカ、ウクレレ、ハープ、手話まで飛び出して、皆さんの芸達者ぶりに驚きました。



3 月歓送発表会の様子

土でできたオカリナの素朴な優しい音色に癒やされて、新人さんも練習に励んでいます。初めてオカリナを手にした方は、小指や薬指の上げ下げに四苦八苦しなながら、これも脳トレと頑張っています。

今年の学園祭は 1、2 年とも初めてなので、張り切って練習しています。さて、皆さまに癒やしをお届けできますでしょうか？



オカリナ用マスクを着けて練習中

グループわ だより

ユニバーサルカレッジ開講式（7月24日）

特別支援学校卒業して就労する障がい者が、講義や部活動を通じて一般教養を身に付けたり仲間作りができる生涯学習の場「KOBEしあわせの村ユニバーサルカレッジ」がシルバーカレッジに開設され、市内の27名が参加しました。7月24日、久元神戸市長も来校され開講式が行われました。グループわ は、ボランティアグループによる世代間交流授業や部活動その他、ユニバーサルカレッジを側面からサポートします。



夏休み工作塾（8月7日）

しあわせの村の研修館で「夏休み工作塾」を開催しました。本年は、新型コロナウイルス感染症対策として、予約制としましたが、多数の小学生に応募いただき、約130名が参加されました。

参加された方々はグループわ 各クラブの指導により、木工・紙すき・バーニングアート・つる細工・折り紙・折染めうわわ・ソーラーオルゴール作りに真剣に取り組み、楽しんでもらいました。



上田 悦子先生のジョイフルクッキング



そば粉のクッキー

《材料》

バター（食塩不使用）	60g
三温糖	75g
卵	1/2 個
飾り用のそば粉	適宜

【A】

薄力粉	30g
そば粉	60g
ベーキングパウダー	大さじ 1/4
アーモンドパウダー	40g

《作り方》（直径約5cm 厚み5mm以上のクッキー約20枚）

- 1) バターをクリーム状にして三温糖を加えて白っぽくなるまで混ぜます。次に卵を2回に分けて混ぜます。
- 2) 【A】を加えてゴムベラで滑らかになるまで混ぜます。
- 3) ラップの上に打ち粉をせずに棒状に置き、側面が直径約5cmの円形に整えます。
- 4) ラップに包んで冷凍庫で約30分間冷やし固めます。
- 5) 5mm以上の厚さに切ります。
- 6) オープンの天板にクッキングシートを敷いて、その上に間隔をおいて並べます。飾り用のそば粉を振ります。
- 7) 170℃で約12～13分焼きます。

《下準備》

- a) オープンは焼く前に170℃に温めておきます。
- b) 三温糖をふるいにかけます。【A】は合わせてふるいにかけます。
- c) バターは常温に戻しておきます。

（食文27期 中田 賢和）

《川柳くらぶ》

自由句

若葉色今日の写生で使い切り

吉田 謙

明日帰る子もゐて花火終はりけり

谷口 裕

この頃の便利言葉は「記憶なし」

大高 松男

抱き枕コアラのごとき昼寝かな

中井 芳樹

認知症食事運動生きがい

一木 俊規

夏の山黒雲舌を広げをり

大高 松男

紫陽花の頭重たい雨上がり

千足 千

白滝や鉄さび色に濡れる岩

大高 松男

この園が好き四季の花百千鳥

大高 松男

虎が雨明石焼屋の自粛札

千足 恵美子

我あたまぼけがまわりてだれかいな

一木 俊規

半夏生父を相手に苦き酒

千足 恵美子

鶯のやけのさえすり嫁日照り

吉田 謙

泡はじけあの日に帰るソーダ水

貞苅 茂

半夏生ビール片手にタコ足

千足 千

ぐづる子を寝かせる母の団扇風

佐野 貴代美

気は急ぐが出てこないねん句と便秘

吉田 謙

泥田中風受け渡す蓮葉かな

戸田 文章

安全安心と気合いの呪文五輪決め

大高 松男

冷奴綾部小鉢の青みかな

山田 浩子

《俳句クラブ》

【兼題】夏からの雑詠



《応募作品》

野田悦治(生環26期)

月食や月の夜遊び隠れんぼ

接種券届いた順に歳ばらす

微熱なら喜ぶべきか副反応

文化祭二回接種に安堵感

クラス会マスク顔しか名前出ぬ

寺尾隆志(美工28期)

巣ごもりしノンアルコール飲み比べ

各国の酒で乾杯選手村

庭花火みな顔のみぞ浮かびけり

知覧へと蛭迷わず帰りけり

火の粉あぶ男不動や筒花火

俳句・川柳募集中

投稿はこちらから



絵画・陶芸 VG 合同作品展の新聞報道

7月6日（火）から11日（日）までの間、新長田合同庁舎1階展示ギャラリーにおいて、絵画・陶芸VG(ボランティアグループ)による合同作品展が開催されました。会場では水彩画・油彩画など45点、茶碗、皿など46点が展示され、その間、約220名の方が来場され、7月8日の神戸新聞に掲載されました。



絵画VG代表 国際27期 前田龍夫さんは、「コロナ禍により活動が制約されている中、例会活動を通じて、意欲

的に作成した作品を展示し、多くの来場者に見ていただくことにより、非常にいい刺激となりました。今後もメンバー一同、より良い作品作りに取り組みたい」と、また、陶芸VG代表 美工27期 石川春男さんから「陶芸VG2年生にとって初めての校外作品展で、不安と少しの期待がありました。新聞に取り上げてもらったことで、91歳のおばあちゃんにも見に来ていただき、次回の作品展に向けて作陶に頑張ろうと思います」とコメントがありました。

(美工27期 林 誠一郎)



ふれあいホールに七夕飾り

ふれあいホールでの七夕飾り、少しは明るい気持ちになっただけでしょうか。また見て触って短冊に願いごとを書いていただきましたでしょうか。7月12日に撤去しましたが皆さんの望みがかないますよう梅雨明けと共に満天の星空の下で燃やしました。煙となって天空に届くでしょう。今年3月に「こども文化」の代表になって最初の大きな



使命が七夕飾りでした。問題は2つ、笹をどうやって調達するか、そして多くの飾りをどうやってつくるかです。笹は許可を得て、しあわせの村の北門のすぐ外にある村所有の竹林から伐採、車に積み込んでカレッジまで搬送しました。一方、飾りは人海戦術で「こども文化」OBの「むかしあそび」のメンバーにお願いしました。徹夜で作ってくださった方もいたと聞いています。7月1日には無事立ち上げることができました。

クラブのメンバー、事務所の方々、しあわせの村緑地課の方々に感謝です。コロナの収束と毎年の開催を願っています。
(こども文化代表 生環27期 吉田 謙)

しあわせの村ユニバーサルカレッジが開講

7月24日、KOBES しあわせの村ユニバーサルカレッジの開講式がシルバーカレッジで行われました。



ユニバーサルカレッジはシルバーカレッジを運営するこうべ市民福祉振興協議会とボランティア団体「グループわ」が協力して運営する、学校卒業後の若い障がい者の学びの場です。

学習内容は「ソーシャルスキルの訓練」ではなく、興味関心の幅を広げる教養講座です。

式後の講座の「異文化を学ぶ」では受講生からたくさんの質問がありました。また、「グループわ」との世代間交流のマジ

ック教室では、自分でマジックをやってみて楽しみました。

テニスなど5つの部活動もあり、学習する仲間づくりや部活動を通じて主体性の醸成がはかられます。

講座はシルバーカレッジやしあわせの村の施設を利用して、来年2月12日まで全6回開催されます。

(音文27期 空中 博)



世代間交流のマジック教室

事務局だより

◆感染防止対策への協力をお願い

学生の皆さまには、感染防止対策にご協力をいただきありがとうございます。多くの方がワクチンを接種されていると思いますが、油断は禁物です。

カレッジから感染対策の変更をご案内するまでは、これまでと同様に、体調管理、手指消毒、3密の回避（特に食事のとき）、マスクの着用、検温など感染防止対策の励行を引き続きお願いします。

◆台風などにおける気象警報発表時の対応

午前 8 時の時点で神戸市域に気象警報が発表されている場合は休校です（学生便覧 10 ページ参照）

なお、休校の際は、当校のホームページの「緊急のお知らせ」に掲載します。（<http://kobe-sc.org/>）

個別の連絡は行いませんので、テレビやインターネット等の気象情報に注意してください。

◆駐車場定期券の取り忘れにご注意を

駐車場定期券をご利用いただいておりますが、料金所で定期券を機械に挿入したあと、取り忘れて定期券を紛失するケースが複数発生しています。すでに制度開始後 1 年近くたちますが、まだ減ってはおりませんので、ご利用時には十分ご注意ください。

なお定期券の再発行には千円が必要です。

◆学生募集への協力について

昨年度以来、コロナ禍で学生数が減少しています。学生の数は、カレッジの活気にも直結します。

学生の皆さまにおかれましては、来年度入学生の増加に向けて、口コミによる勧誘や案内など学生募集への協力をお願いいたします。

図書室だより

本稿をお届けできるころには、新型コロナがワクチン効果で収束し、オリンピック東京大会が盛会裏に終わって、平穏な日常が戻っていることを切に願いたいものです。

さて図書室には、各専攻の専門書も備え付けていますので、きっと満足されるものと思います。利用しない手はありません。読みたい書籍が備え付けられていないときは、希望する書籍を申し込んで購入してもらうことも可能です。

なお、題名だけでは新着図書の内容が分からないので内容を紹介してほしいという要望がありました。次回から、十進分類法による内容表記を行うことにしますので、参考にしてください。

<新着図書>

『日本人がいつまでも誇りにしたい 39 のこと』

ルース・マリー・ジャーマン（著） あさ出版

『森林浴』

李卿（著） まむかいブックスギャラリー

『リベラルなイスラーム』

大川玲子（著） 慶應義塾大学出版

『心淋し川』

西條奈加（著） 集英社

『新型コロナとワクチン 知らない不都合な真実』

峰宗太郎（著） 日経 B P 日本経済新聞出版

『感染症とワクチンについて専門家の父に聞いてみた』

さーたり（著） KADOKAWA

『潮風のおこうには 平生 三郎と住吉村の人々』

中森敏博（著） 自費出版

『高知よさこい祭り 市民がつくるパフォーミング・アーツ』

岩井正浩（著） 岩田書院

『アジサイ』

川原田邦彦（著） NHK出版

十進分類法による内容表記「草花（紫陽花）」

編集後記

9 月号の発行に向け情報誌委員会全員で活動してきました。特集として、第 26 回学園祭への各委員の皆さんの取り組み等を取り上げています。

ところで、オリンピックも終わりましたが、神戸にもメダリストがいたことにびっくりしました。昼食を和田岬のパン屋さんで買っていたのですが、阿部一二三、詩のバナーがお店の外にあ

り、何気なく見ていました。兄妹の「切磋琢磨」「技術錬磨」の行動は情報誌にも相通じるものと心から思います。4 回目の緊急事態宣言が発令されました。ワクチン接種後も安心せずより一層の感染対策とともに、シルバーカレッジの情報誌として本誌をお役立てください。

情報誌編集委員会

令和3年度 新入生歓迎交流会

7月27日~7月30日



後藤事務局長挨拶



3年生歓迎スピーチ



新入生に贈る言葉



1年生御礼の挨拶



食文受付でプレゼントを配布



出番前の手話ソング



園芸1年マスクを外して一瞬の写真



音文1年昴28



音文パプリカ踊り隊



音文3年響26



2階音響照明係



KSCマジック同好会



KSC社交ダンスクラブ



会場風景



アンサンブルKSC



KSCアロハハワイアンズ



KSCフォークソングクラブ



楽遊クラブ(銭太鼓)



手話ソング



KSC太極拳クラブ